



# 南西小だより

令和4(2022)年度  
南阿蘇村立  
南阿蘇西小学校  
学校だよりNo.13号  
R5.3.3(金)  
文責 佐藤 和也

## ◎「熊本県学力・学習状況調査」の結果について

本日、学級懇談会で本年度12月に3年生以上の学年で行われた「熊本県学力・学習状況調査」の結果をお渡します。

結果は受検教科平均及び標準スコアで見ると、学校全体として国語も算数も良好な結果だったと捉えています。特に算数はよくできていました。全学年で両教科とも県・全国と同程度、又は上回っており、大きな落ち込みもありませんでした。

なお、1年生と2年生についても、村の学力テストを実施していますので、2年生は本日、1年生は3月中旬には結果を配付できると思います。

### 【国語について】

#### 【課題】

- ・物語や説明文の内容を読み取ること。
- ・(学年によって)話合いの内容を聞き取ること、漢字を読むこと、書くこと。
- ・(学年によって)漢字を読む、書く、言葉の学習に関すること。

#### 【主な対策】

- ・音読や読書活動の推進する。
- ・話合い、対話活動の充実を図る。
- ・日記や短作文などの積み重ねを行う。
- ・繰り返し学習を継続する。(漢字ミニテスト、辞書引き等)
- ・主体的な家庭学習(自学等)を推進する。

### 【算数について】

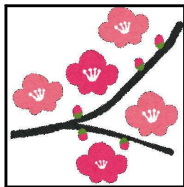
#### 【課題】

- ・全学年とも個人差が見られる。
- ・思考力を問う問題や基礎を活用する問題を苦手としている。

#### 【主な対策】

- ・それぞれに応じた復習課題に取り組みせ定着を図る。
- ・対話や話合い等学び合いを通して、考え方等が交流できるようにする。
- ・授業内容を家庭学習で定着を図る。

結果は全体的には良好といえますが、国語では、問題文を最後まで正確に読み取ること、算数では、設問内容を理解することなどが課題です。これは、ここ数年の傾向です。「文章を速く正確に読むこと」「初めて読む文章でも内容を捉えること」など、基本的な「読む力」が課題と言えます。



文章を繰り返し読むこと、よい文章に出会うことも「読む力」を高めることにつながります。日々の家庭学習の音読を始め、読書活動の推進(「家読の取組」を含む)にも力を入れたいと思っています。これからも家庭での音読や読書にもご協力よろしく申し上げます。

この県の調査で生活習慣や学校生活の様子を見る質問紙調査では、次のようなことも分かりました。

子どもたちのよさとして、「学級の子どもたち同士のつながりが良好」「いじめにつながるようなリスクが少ない」ということ、課題として「学習習慣や生活習慣の定着」「周りからの支えを必要としている」ということ等々です。

この調査の「周りの支え」とは、家族・教師・友だちの三者を意味しています。学校では、一人一人に寄り添う丁寧な指導を行い、子どもたちが互いに認め合い支え合える集団づくりを進めていきます。ご家庭でも、お子さんを認め褒め、励まし伸ばす姿勢で見守って頂きますようお願いいたします。

(学級懇談会用校長資料「学級懇談会に寄せて」参照)